

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
62071	博物館実習	3単位 通年	3~4	実習	森 達也 倉成 多郎 (非) 比嘉 明子 (非)

■テーマ 博物館学芸員の仕事を理解する

■授業概要

博物館学課程の仕上げとして、夏季休暇中に学外の博物館において館園実習を行い、学芸員業務の実際を学ぶ。また館園実習の事前指導として、博物館見学実習、資料取り扱い実習、展示実習などを行い、館園実習後には見学実習、報告会および事後指導を実施する。

■学習目標

博物館・美術館の学芸員の実際の業務に触れることを通じて、博物館資料の取り扱いなど学芸員の実践的な技術と方法を習得する。

■授業計画・方法

博物館実習は、「学内実習」（実務実習・見学実習・事前事後指導）と学外の美術館・博物館へ実習に行く「館園実習」で構成される。すべて集中講義で行われ、授業計画は下記のとおりである。日程については、公示や個別連絡により通知する。

- (1) 第1日目…実習オリエンテーションを行い、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館の施設見学を行う。
- (2) 第2日目・3日目…館園実習の前に見学実習（自由見学）を行う。
- (3) 第4日目・5日目…附属芸術資料館において、館園実習に向けての講義を受け、資料の扱い方など学芸員実務の基礎を学ぶ。5日目の終わりに事前指導を行い、実習生にふさわしい態度や心構えを身につける。
- (4) 第6日目～15日目…館園実習は原則的に10日間とし、学外での実習がこれに満たない場合は、不足分を大学附属図書・芸術資料館で実習する。実習期間は原則として夏季休業中とする。
- (5) 第16日目…他大学のユニバーシティミュージアムを訪ね、見学実習を行う。その後、各自実習の総括を行い、報告事項をまとめる。
- (6) 第17日目…館園実習の報告会を行い、実習の内容と感想・反省を報告してもらう。また事後指導においては、実習を振り返るとともに、共通課題について議論するなどして、問題を解決していく。

日程	授業内容	
第1日目	4月6日	実習オリエンテーション、見学実習（附属芸術資料館施設見学）
第2日目	5~6月	館園実習の前の見学実習（自由見学）
第3日目	5~6月	館園実習の前の見学実習（自由見学）
第4日目	6月29日	実務実習（講義、資料の取扱い：資料の梱包・掛け軸・屏風・陶磁器）
第5日目	6月30日	実務実習（資料の取扱い：立体物の展示と照明、グループワーク）、事前指導
第6日目	原則として夏季休業中。 補講は十月以降	館園実習 1日目
第7日目		館園実習 2日目
第8日目		館園実習 3日目
第9日目		館園実習 4日目
第10日目		館園実習 5日目

第11日目		館園実習 6日目
第12日目		館園実習 7日目
第13日目		館園実習 8日目
第14日目		館園実習 9日目
第15日目		館園実習 10日目
第16日目	11月30日	見学実習（琉球大学附属資料館風樹館見学）、各自実習の総括
第17日目	12月1日	館園実習報告会、事後指導

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- (1) 本学の博物館学課程を履修している学部生および大学院生、または本学を卒業・修了した科目等履修生を対象とする。
- (2) 博物館実習を除く指定教育科目をすでに履修した者、あるいは博物館実習を履修する年度中にすべてを履修する見込みのある者について受講を認める。ただし、博物館概論は履修済みでなければならない。
- (3) 博物館実習を履修する前年度の10月に行われる博物館実習ガイダンスに出席し、「博物館実習申込書」を提出していない者の履修は認めない。
- (4) 博物館実習を受講するには、各館の定める実習費が必要になる場合がある。その場合は、各受講生に対し金額や支払い方法等を知らせる。
- (5) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）および学研災付帯賠償責任保険（付帯賠）、またはこれに相当する保険に加入していない者の受講は認めない。
- (6) 教職課程の教育実習や自由科目等、各自の制作や練習の都合で実習を取りやめたり、実習日や時間を変更したりすることはできない。
- (7) 博物館実習は公欠扱い（両学部『履修規程』第10条第6項の「欠席日数に加えない理由」）には該当しない。
- (8) 実習中は「博物館実習録」をつける必要がある。自由見学と館園実習については、それぞれレポートの提出が必要。館園実習レポートは『Mouseion(ムセイオン)』誌に掲載する。
- (9) 学外の実習希望館への連絡方法や提出する課題等の指導を行うため、前学期のみ個別に指導する時間を設ける。
今年度は月曜日3時限目（12:40～14:10）とする。

■成績評価の方法・基準

□方法

実習館による館園実習の成績と担当教員による学内実習の成績を合わせて評価する。

□基準

到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書

特になし。必要な資料は、授業の際に適宜配布する。

□参考文献

全国大学博物館講座協議会西日本部会編『新時代の博物館学』（芙蓉書房出版）2012年